



## Cisco Emergency Responder Admin Utility

Cisco Emergency Responder (Emergency Responder) では、Admin Utility は Emergency Responder 自体に統合されています。Admin Utility には、メインの Emergency Responder Web ページからアクセスできる専用の Web インターフェイスがあります。他の Emergency Responder Administration Web インターフェイスと同様に、Admin Utility Web インターフェイスはパスワードで保護されています。

この章では、Emergency Responder Admin Utility の使用方法について説明します。

- [Cisco Unified Communications Manager のバージョンの変更, 1 ページ](#)
- [Emergency Responder クラスタ データベース ホストの詳細情報の更新, 2 ページ](#)

## Cisco Unified Communications Manager のバージョンの変更

Admin Utility を使用して Cisco Unified Communications Manager (Unified CM) のバージョンを変更するには、次の手順を実行します。

### 手順

- ステップ 1** Emergency Responder Admin Utility Web インターフェイスにログインします。
- ステップ 2** メインの [Emergency Responder Admin Utility] ページで、[Update] > [CCM Version] の順に選択します。[Upgrade CCM Version] ページが表示されます。
- ステップ 3** [Choose the CCM Version to Upgrade] プルダウンメニューから、Unified CM の新しいバージョンを選択し、[Go] をクリックします。  
(注) パブリッシャおよびサブスクライバノードで個別に Unified CM バージョンを変更する必要があります。  
L2 のアップグレード中に、Emergency Responder の低いバージョンで Unified CM バージョンが 6.0 以下として設定されている場合は、アップグレード後に Emergency Responder によって Unified CM が 6.1 バージョンに設定されます。

同様に、L2 のアップグレード中に Emergency Responder の低いバージョンで Unified CM バージョンが 7.0 に設定されている場合、アップグレード後、Emergency Responder で 7.1 バージョンに設定されます。

変更が行われると、[Upgrade CCM Version] ページの [Status] 領域に新しいバージョン番号が表示されます。

## Emergency Responder クラスタ データベース ホストの詳細情報の更新

デフォルトでは、クラスタ内の各サーバは、自身のデータベースをクラスタデータベースホストと見なします。各クラスタで保持するデータベースは 1 つのみでなければならないため、クラスタ設定をそれに従って更新する必要があります。

たとえば、2 つのサーバグループ (Servergroup A と Servergroup B) にそれぞれパブリッシャとサブスライバが含まれている場合は、次の手順を実行してクラスタデータベースホストの詳細を更新します。

- 1 Servergroup A の独自のホスト名を使用して、Servergroup A のクラスタ データベース ホストのパスワードを更新します。
- 2 IP アドレスと、Servergroup A のクラスタ データベース パスワードを入力して、Servergroup B のクラスタ データベース ホストパスワードを更新します。
- 3 クラスタ内の他のサーバグループに対して、ステップ 2 を繰り返します。



(注) ホスト名を使用する場合は、DNS を使用してそのホスト名を解決できる必要があります。DNS が設定されていない場合や、DNS が何らかの理由で使用できない場合、ホスト名の解決が失敗し、クラスタは正常に機能しません。使用不可にならないように、DNS の設定に冗長なエントリを含めることをお勧めします。または、クラスタ データベース ホストの IP アドレスを、この画面で設定することもできます。

Admin Utility を使用して Emergency Responder クラスタ データベース ホストの詳細を更新するには、次の手順を実行します。



(注) Emergency Responder クラスタ DB ホストの詳細を更新するには、サーバをリブートする必要があります。他のサービスが IP アドレスをキャッシュしているため、Emergency Responder サービスを再起動するだけでは機能しません。



- (注) この手順では、このサーバグループの Emergency Responder クラスタ DB ホストの詳細のみが更新されます。この Emergency Responder クラスタ内の他のサーバが自動的に更新されることはありません。

#### 手順

- ステップ 1** Emergency Responder Admin Utility Web インターフェイスにログインします。
- ステップ 2** メインの [Emergency Responder Admin Utility] ページで、[Update] > [Cluster DBHost] の順に選択します。[Update Cluster DB Host] ページが表示されます。
- ステップ 3** テキストボックスに、新しいクラスタ DBHost 名 (DNS が設定されている場合) または IP アドレスを入力します。クラスタが複数のドメインに分散している場合、完全修飾ホスト名を入力します。
- ステップ 4** [Password] テキストボックスに、新しいクラスタ DBHost のパスワードを入力します。
- ステップ 5** [Confirm Password] テキストボックスに、新しいクラスタ DBHost のパスワードを再入力します。
- ステップ 6** [Go] をクリックします。

#### 関連トピック

[Update Cluster DB Host](#)

